

令和4年度(令和3年度実績) 総合評価書 <施設名 笠原児童館>

1	指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日(3年間)
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
運営・利用 状況(40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10		平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(4月～9月10:00～17:00、10月～3月10:00～18:00)は、自由来館としている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(4月～9月13:00～14:00、17:00～18:00、10月～3月13:00～14:00)を設けているため、13:00～14:00は児童館利用をご遠慮いただいている。 ・8/23～9/30 臨時休館 ・1/21～3/21 自由来館のみとし、全ての事業を中止。			
	②利用人数		平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		コロナ対応2年目となり、臨時休館や自由来館のみとなった期間があったが、令和2年度の経験を活かし、コロナ禍の中でもできることを工夫して取り組んだ結果、ほぼ前年度並みの利用者があった。 【3年度】 来館者数 4,476人 乳幼児:1,651人 小学生:1,001人 中高生:58人 大人:1,766人 【2年度】 来館者数 4,391人 乳幼児:2,325人 小学生:383人 中高生:10人 大人:1,673人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点			
	※今回は指定管理2年目の評価のため、上記(2)を適用 102%≒利用人数(延べ人数 4,476 人)÷ 4,391 人 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2年度と同様)									
(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計37回開催、延べ729名参加) ・児童を対象とした事業(53回開催、延べ305名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計9回開催、延べ328名参加) ・中高生事業(計5回開催、延べ10名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計10回開催、延べ46名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書 以上 13点	・地域と連携を図り、事業を行っている。 ・すべての事業項目において、前年度より回数、参加人数とも上回っており、コロナ禍の中、工夫をして取り組んでいる。	13点			
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計37回開催、延べ420名参加) ・児童を対象とした事業(計29回開催、延べ226名参加) ・地域交流、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計28回開催、延べ550名参加) ・中高生対象事業(計2回開催、延べ4名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計23回開催、延べ209名参加) ※別紙:事業報告書 参照	期待以上 13 点	・地域と連携を図り、事業を行っている。 ・笠原児童館の特徴である木育ひろばや、自主事業として企画実施した成長曲線付の記録カードなど、特徴のある取組みができている。 ・異学年、異校区の交流や、校区を超えて多くの参加があり、地域を超えた参加者同士の交流ができた。	13点			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:ガラスは年2回以上、備品はコロナ禍の為毎日 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 時間を見つけ第2駐車場を含め、児童館周辺の側道まで様子を見てゴミ拾いや除草作業を行っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			遊具点検:毎月の職員点検と年3回の業者点検 電気工作物点検および自動ドア点検:業者委託により実施 パソコンサポート:随時 東京本部情報システム部等によるサポート	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備:警備会社に委託 消火器経年使用の為、加圧式から蓄圧式に入れ替え実施 令和3年度から警備システム導入	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			・児童館裏駐車場の整地:バラス投入、駐車場擁壁の転落防止ロープ結索等 計6,433円 ・蛍光灯交換など、軽微な不具合の修繕 ※10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕・修理を行った	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			毎月1日に「安全点検日」を設け、全館の点検確認をするとともに、職員研修「リスクマネジメント」を基に「ヒヤリハットシート」を活用している。	適正(普通) 2点	適正に対応されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)		①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、個人情報を含む重要書類は施錠保管	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			・「節電・節水に努める」 冷暖房の設定温度を適正設定し、冬期床マットの追加など、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関へはメール連絡を心掛けている。事業で使用する工作材料はできるだけ廃材を活用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。 ・「ゴミの分別」 リサイクルできるものは適切に分別し、寄付されたおもちゃなどリユースできるものは再活用している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			③バリアフリー			・玄関のスロープやトイレの手すりなど設置。 ・手すりや机の角に緩衝剤を付けて対応。不使用時のコンセントにはカバーを付ける等利用者の安全に配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
			⑤個人情報保護			特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	事故対応 1件(4歳男児 乳幼児室にて遊具(ジャングルジム)より転倒、左ひじ骨折) ・応急処置対応、かかりつけ医との連携等 事故対応後 ・座面を低い位置に設定(開館前に必ず確認) ・親がトイレ等行く場合は職員が必ず子どもを注視 ・定期的に職員が交代で活動の様子を確認	事故なし・対応に不備なし 0点	・利用者に注意喚起を行い、子どもの見守り等保護者に向けての注意喚起を徹底する。 ・ワーカーズコープとして保険に加入している。 ・再発防止策を速やかに実施しており、適正に対応した。	0点
3	当該施設の経営状況(-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 10,968,400÷支出 11,516,337≒95.2% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するものではないため、評価対象外とする。			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・窓口に意見箱を設置するとともに、「児童館の休館日に関するアンケート」「乳幼児クラブ」「木育ひろば」「ままメイト」「児童館まつり」「移動ぎふ木遊館」「にじいろ」「わくわくバザー」終了時にアンケートを実施した。 ・日常においても、利用者に声をかけニーズの把握に努めている。	期待以上 14点	・乳幼児クラブではアンケート結果を踏まえ、次期のクラブに取り組むことで対応している。 ・あらたまったアンケートだけでなく、日頃からの聞き取りにも重点を置き、事業および施設運営に反映改善に努めている。	14点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」10月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」2月18日～19日「全国子育てフォーラム」(オンライン) ・11/13～14「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。 ・2/27～28「全国事業推進会議」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン) ・愛知岐阜静岡エリアブロックにおいて研究交流会および経理研修を計6回開催した。(オンライン) ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。(新型コロナ対策・次亜塩素酸水活用法・密を避ける遊びの工夫・公共を担う仕事・熱中症予防健康管理・SDGs・児童館ガイドライン・リスクマネジメント・子どもの権利・ぎふ木育・など専門性を高める研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・12/16館長研修会「コロナ禍の児童館運営について」児童健全育成推進財団理事長 鈴木一光先生 ・11/12東濃ブロック児童厚生員研修会「個別支援のあり方」児童心理療育施設桜学館施設長 児玉俊郎先生・11/18東濃地区児童館職員等研修会「コロナに対応した運動あそび」ルーデンスジャパン 山田恭平先生 「児童発達理論」岐阜聖徳学院大学 高村和代先生 「虐待講話」東濃子ども相談センター 小池智明先生	期待以上 14点	・法人として、職員のスキルアップのためのさまざまな研修を受講している。 ・臨時職員の有資格者の登録等、人員確保のための対応をしている。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下					87点
									全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・コロナ禍で事業が中止される中、熱意をもって取り組んでいる。 ・親子ひろばの廃止に対応、事業継続して移行者にも配慮している。	極めて良好